

ゲットアウト集会開催

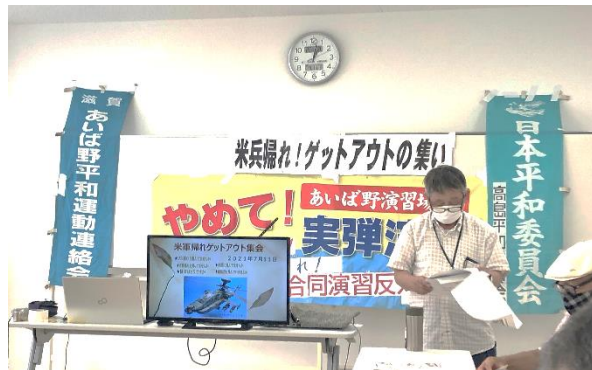
7月11日、高島市内であいば野平和運動連絡会は「ゲットアウト集会」を開催しました。6月18日から始まった日米合同演習（日米共同訓練）は同日までの予定で行われていました。

集会では饗庭野演習場での危険な訓練の実態と経過を、映像を用いて同連絡会の泉勝男事務局長が報告しました。訓練が中国への牽制であることを示し、6月23日に起こった演習場外への120ミリ迫撃砲弾の落下事件についても触れられました。

監視活動の報告もされ、自衛隊機や米軍機の動きを記録に基づいて報告されました。交流では「迫撃砲弾は70発撃つ予定の7発目だったようだ。全部打ったのかはわからない」「事件後に高島市に報告に来た防衛省は不誠実な態度であり、会議議長も抗議した」「事故続きだが、そのたびに防衛省の態度は悪くなる」「防衛省・自衛隊に真相究明を求めてもダメだ、県議会を通じて警察を追及するべきだ」など意見や情報がだされました。

防衛省は事件の理由を火薬量の間違いとしますが、そんなことが起こりうるのでしょうか。矮小化しようとしているのではないのでしょうか。事故後実弾訓練はいったん取りやめになっていますが、発射しないだけで120mm迫撃砲を使って訓練していたことが明らかになっています。甚大な事故を起こしておきながら日米共同訓練を優先するこの不遜な態度一つとっても、訓練を認めるわけにはいきません。

泉事務局長は「日米共同訓練は日本を守る訓練ではない」とし、運動の強化と方向を確認しました。



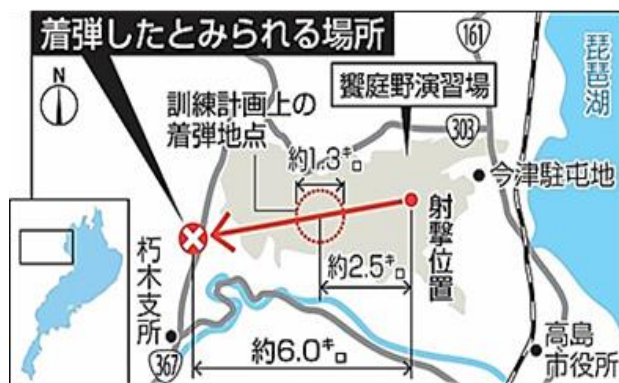
写真上：ゲットアウト集会の様子



写真中：6・27 あいば野大集会のデモの様子。

写真下：120 ミリ迫撃砲の射撃場所と着弾地点の図。

写真中・下は泉さんの報告より抜粋しました。



今後の予定

- 8月1日 明るい滋賀県政をつくる会署名スタート集会（13:30-県民交流センター/Web）
- 8月初旬 原水禁世界大会（Web・各地）県労連でも8/6.9は視聴予定
- 8月28日 平和の集い（夕刻・予定）